

平成24年度 大学コンソーシアムえひめ 共同授業

『共生社会』を考える in EHIME

～違いを認め合おう～

『共生社会』という言葉からどのようなことを連想しますか。環境問題から社会、文化、福祉など、多様な内容を取り上げ、具体的に学んでいきます。多様なものの違いを認め合い、共生社会の在り方を探っていきましょう。



【開催時期】 2012年8月27日（月）～8月30日（木）

【開催場所】 松山大学

予備日：8月31日（金）

【参加大学】 愛媛県内11大学

今治明德短期大学・愛媛県立医療技術大学・愛媛大学・環太平洋大学短期大学部

聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部・放送大学愛媛学習センター

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学・松山大学・松山短期大学

問い合わせ：各大学の教務課まで



平成24年度

大学コンソーシアムえひめ共同授業

手引き

自 : 平成24年8月27日(月)

至 : 平成24年8月30日(木)

予備日 : 平成24年8月31日(金)

場所 : 松山大学8号館844番教室

2号館212番教室

当番大学	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部
参加大学	今治明德短期大学・愛媛県立医療技術大学・ 愛媛大学・環太平洋大学短期大学部・ 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学・ 松山大学・松山短期大学・ 放送大学愛媛学習センター

平成24年度 大学コンソーシアムえひめ共同授業 シラバス

科目番号	
授業科目の区分等	それぞれの大学によって位置づけは異なる
対象学生	愛媛県内にある大学のすべての学部・短期大学の全学年対象
授業形式	集中講義
開講時期	平成24年8月27日(月)～8月30日(木) 但し、平成24年8月31日(金)は予備日とする。
授業題目	『共生社会』を考える in EHIME ～違いを認め合おう～ “Symbiosis Society” in EHIME : Let's accept differences
担当教員	吉江 直樹、北尾 孝司、小林 修、服部 寛、森 正康、日野 幸子、山田 富秋、河内 康文、竹下 徹、高木 寛之 (担当順)
授業のキーワード	環境問題(Environmental problems), 微生物(Microorganisms), 法律(Law), 発展社会(A developing society), 民俗文化(Folk culture), 保育(Childcare), 福祉(Well-being), 協働(Collaboration), 多様性(Diversity)
授業の目的	多様なものの違いを認め合い、共生社会について考えるために、 1. 共生すべき対象は人間だけではないことを理解する。 2. 人が持つ多様な立場や多様な価値観について理解する。 3. 他者との協働の在り方と、その中での自分自身の役割を考える。
授業の到達目標	1. 生物の営みから共生の在り方のヒントを得ることができるようになる。 2. 社会生活上のルールや規範から共生の在り方を見出すことができるようになる。 3. 様々な立場や価値観を知り、認めることができるようになる。
授業の概要	『共生社会』を統一テーマに、愛媛県内11大学が共同で本授業を開講します。各大学の教員が共同で授業を行い、他大学の学生とともに、松山大学で受講します。環境問題から社会、文化、福祉など、多様な内容を取り上げ、具体的に学んでいきます。多様なものの違いを認め合い、共生社会の在り方を探っていきます。
授業スケジュール	90分を1コマとする以下の15コマの授業が、4日間の集中講義(5日目は予備日)の形態で実施される(場所:松山大学)。 開講時間 ; 1時限目:9:00～10:30、2時限目:10:45～12:15、3時限目:13:15～14:45、4時限目:15:00～16:30 8月27日(月)午前10:00:ガイダンス【聖カタリナ大・丹下】 8月27日(月)2・3時限目(2コマ):1. 地球規模の環境問題-地球温暖化- 2. 地域の環境問題-瀬戸内海を例に- 【愛媛大・吉江】 8月27日(月) 4時限目(1コマ):微生物との共存(微生物とうまくつきあうために)【県立医科大・北尾】 8月28日(火)1・2時限目(2コマ):全人のための自然共生型の持続的発展社会のあり方【愛媛大・小林】 8月28日(火)3・4時限目(2コマ):法と社会と共生と-現代社会における法の役割(及び限界)について-【松山大・服部】 8月29日(水) 1時限目(1コマ):民俗文化にみる「共生」【松山東雲短大・森】 8月29日(水) 2時限目(1コマ):保育環境の中でのジェンダー構築-共生社会における価値観の錯綜- 【聖カタリナ短大・日野】 8月29日(水)3・4時限目(2コマ):共生社会をめざして【松山大・山田】 8月30日(木) 1時限目(1コマ):『共生社会』を考える-障害者福祉をとおして共生社会の障害を考える- 【今治明德短大・河内】 8月30日(木) 2時限目(1コマ):『共生社会実現のために求められる条件-認知症高齢者を地域でささえる自治体を例に-』 【環太平洋短大・竹下】 8月30日(木)3・4時限目(2コマ):共生社会と福祉【聖カタリナ大・高木】 8月31日(金):予備日
授業時間外学習にかかわる情報	予習・復習が必要である。 事前に配布される授業資料に従って予習を行う。また、授業で課されるレポートを期限内に提出する。
受講のルール	出席が授業開講時間数の3分の2以上なければ評価しない。 授業後のレポートなどの提出が課された場合には、期限・提出方法を厳守し、必ず提出すること。 授業時間毎に、配布される「出席カード」に記入し必ず提出すること。「出席カード」の提出がない場合には、レポートの提出があっても、評価しないこととする。
教材に関わる情報	事前に授業資料等が配布されるので、各大学にて必ず事前に受領すること。 授業中にも、適宜資料等が配付される。
評価にかかわる情報	授業中のテスト又は授業後のレポートにより評価される。 1コマの授業で評価を行う場合のテスト(又はレポート)は100点満点、同一教員が連続して2コマの授業で評価を行う場合のテスト(又はレポート)は200点満点とする。計15コマの点数を合計(1500点満点)し、その結果を100点満点に換算して成績評価とする。
台風に際しての取り扱い	台風による暴風警報が、午前7時の時点で松山市に発令された場合は午前中の授業は中止とする。11時の時点で暴風警報が解除になれば午後の授業は行う。11時の時点で松山市に発令されていれば午後の授業は中止とする。 松山大学及び各々の学生が所属する大学に問い合わせても答えられないため、個々でNHKニュース、気象庁のホームページ(事前に配布される授業資料参照)など、公的な機関からの情報を得ること。 中止された授業は、予備日の8月31日(金)に実施する。なお、開講時限はそのままとする。
その他	愛媛県内11大学が共同で授業を実施します。各大学の教員による様々な側面からの授業を松山大学で受講できます。さらに、他大学の学生とのグループディスカッションや交流をもつ機会となります。

平成24年度大学コンソーシアムえひめ共同授業日程表

メイン・テーマ：『共生社会』を考える in EHIME ～ 違いを認め合おう～

場 所：松山大学 844番教室・212番教室 8月27日(月)～8月30日(木)・予備日8月31日(金)

	9				10				11				12				13				14				15				16	
	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30				
8月27日 (月)			受付		ガイダンス		休憩		講義1 全人のための自然共生型の 持続的発展社会のあり方 愛媛大学 小林 修 先生		休憩		講義2 全人のための自然共生型の 持続的発展社会のあり方 愛媛大学 小林 修 先生		休憩		講義3 微生物との共存 ～微生物とうまくつきあうために～ 愛媛県立医療技術大学 北尾 孝司 先生													
8月28日 (火)	講義4 地球規模の環境問題 —地球温暖化— 愛媛大学 吉江 直樹 先生					休憩		講義5 地域の環境問題 —瀬戸内海を例に— 愛媛大学 吉江 直樹 先生		休憩		講義6 法と社会と共生と —現代社会における法の役割(及び限界)について— 松山大学 服部 寛 先生		休憩		講義7 法と社会と共生と —現代社会における法の役割(及び限界)について— 松山大学 服部 寛 先生														
8月29日 (水)	講義8 民俗文化にみる「共生」 —福子と鬼子— 松山東雲短期大学 森 正康 先生					休憩		講義9 保育環境の中でのジェンダー構築 —共生社会における価値観の錯綜— 聖カタリナ大学短期大学部 日野 幸子 先生		休憩		講義10 共生社会をめざして 松山大学 山田 富秋 先生		休憩		講義11 共生社会をめざして 松山大学 山田 富秋 先生														
8月30日 (木)	講義12 『共生社会』を考える —障害者福祉をとらして共生社会の障害を考える— 今治明德短期大学 河内 康文 先生					休憩		講義13 共生社会実現のために求められる条件 —認知症高齢者を地域で支える自治体を例に— 環太平洋大学短期大学部 竹下 徹 先生		休憩		講義14 共生社会と福祉 聖カタリナ大学 高木 寛之 先生		休憩		講義15 共生社会と福祉 聖カタリナ大学 高木 寛之 先生														

大学別受講者数一覧

大学名	収容定員	受講定員	申込者数
愛媛大学	7,100	88	34
松山大学	5,480	68	1
松山短期大学	200	10	26
聖カトリック大学	880	12	49
聖カトリック大学短期大学部	200	10	6
愛媛県立医療技術大学	340	10	32
松山東雲女子大学	670	10	2
松山東雲短期大学	680	10	3
環太平洋大学短期大学部	340	10	0
今治明德短期大学	300	10	1
放送大学愛媛学習センター	若干名	若干名	1
合 計	16,190	238	155

講義題目及び担当講師

講義1	地球規模の環境問題 -地球温暖化-	愛媛大学 講師 吉江 直樹
講義2	地域の環境問題 -瀬戸内海を例に-	
講義3	微生物との共存 ~微生物とうまくつきあうために~	愛媛県立医療技術大学 講師 北尾 孝司
講義4	全人のための自然共生型の持続的発展社会のあり方	愛媛大学 准教授 小林 修
講義5		
講義6	法と社会と共生と -現代社会における法の役割(及び限界)について-	松山大学 准教授 服部 寛
講義7		
講義8	民俗文化にみる「共生」 -福子と鬼子-	松山東雲短期大学 教授 森 正康
講義9	保育環境の中でのジェンダー構築 -共生社会における価値観の錯綜-	聖カタリナ大学短期大学部 教授 日野 幸子
講義10	共生社会をめざして	松山大学 教授 山田 富秋
講義11		
講義12	『共生社会』を考える -障害者福祉をとおして共生社会の障害を考える-	今治明德短期大学 講師 河内 康文
講義13	共生社会実現のために求められる条件 -認知症高齢者を地域で支える自治体を例に-	環太平洋大学短期大学部 講師 竹下 徹
講義14	共生社会と福祉	聖カタリナ大学 助教 高木 寛之
講義15		